

科目名称	小児看護学実習	学年学期	単位数	時間数
		3学年全期	2	90
担当教員	井ノ上 眞由美	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

小児期にある対象とその家族を理解し、個々の健康レベルや成長・発達段階に応じた看護が実践できる基礎的能力を養う。

【2】学習目標

1. 小児期にある対象の特性と健康状態を把握できる。
2. 対象の健康上の課題を把握して看護過程を展開し、家族を含めた援助ができる。
3. 小児特有の看護技術が個別援助や見学を通して修得できる。
4. 保健医療福祉および教育の協働・連携について理解し、チームの一員としての役割を果たすことができる。
5. 実習を振り返り、今後の自己の課題を明確にできる。
6. 看護者の倫理綱領および本校の倫理綱領に基づいた行動ができる。

【3】第2看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
小児病棟実習	小児期の患児を1名受け持ち、看護展開を行う。 患児の支援内容について話し合うため、症例カンファレンスを行う。 入院している患児に対して遊びの意義を理解するため、レクリエーションを行う。 小児の処置の特殊性を理解するため採血の見学を行う。 実習最終日に学生主体で反省会を行い、実習指導者からの助言を受ける。	臨地実習
幼稚園実習	グループ4～5名で、クラスを担当し担任、副担任の指導の下園児の保育を行う。 毎朝朝礼に参加後、実習計画案を担当に報告する。 実習中は、実習内容・実習方法を基に実習を行う。 実習終了後は、担当看護師にその日の行動計画の報告及び反省を行い助言をもらう。 実習終了後は、学生カンファレンスを行いその日の学びをグループで共有する。	
新生児病棟見学	午前中の事前学習を理解し見学に臨む。 見学时疑問に思ったことは、指導看護師に積極的に質問する。 指導者の指示に従って見学する。	

【5】評価方法

実習評価表に基づいて、実習目標の到達度、提出物、実習態度により総合的にを行い、学生・教員で評価を行う。小児病棟実習は評価点を70%換算、幼稚園実習と新生児病棟見学は評価点を30%換算し病棟と合算する。60点以上を合格とする。

【6】教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院
 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 医学書院
 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院

【7】 参考書

小児看護学実習オリエンテーションで配布した資料
授業で使用了配布資料

【8】 受講生へのメッセージ

病棟実習では、臨床で患兒を受け持ち、看護過程を展開し家族も含めた援助の仕方を学びます。幼稚園実習では、幼児期の成長・発達と子どもにとっての遊びの意義について学習を深めていきましょう。